

# News Release

JA共済連 × トヨタ・モビリティ基金

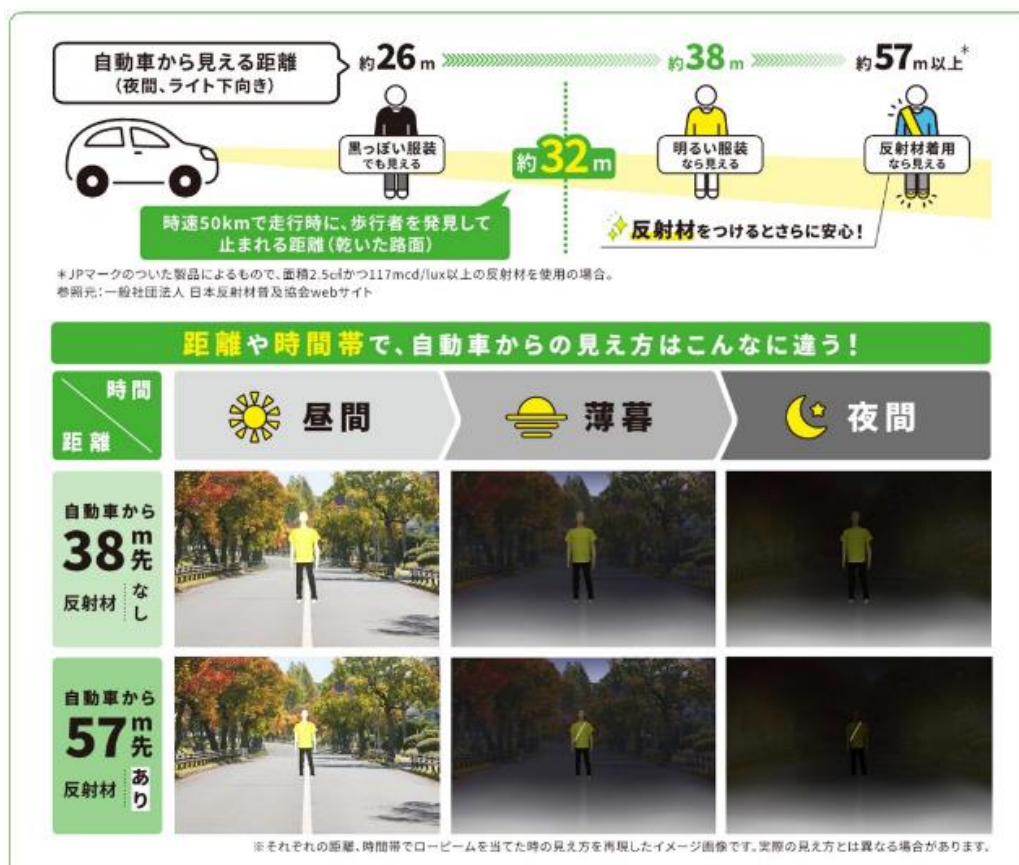
## 薄暮時間帯・夜間の交通事故削減に向けて新たな交通安全啓発活動を開始

ドライバーからの服装の見えやすさを診断するソフトウェア「見えチェック」を開発

JA共済連（全国共済農業協同組合連合会・代表理事理事長 柳井 二三夫）は、トヨタ・モビリティ基金（一般財団法人 トヨタ・モビリティ基金・理事長 豊田 章男）とともに、薄暮時間帯（※）・夜間の自動車対歩行者事故削減を目的として、自身の服装がドライバーからどのように見えるかをシミュレーションし、服装の見えやすさを診断できるソフトウェア「見えチェック」を岩崎電気株式会社の「光環境評価システム QUAPIX(クオピクス)」の技術を応用して新たに開発しました。（※）薄暮時間帯とは、日没時刻の前後1時間をいいます（日没時刻は、月日や都道府県により異なります。）

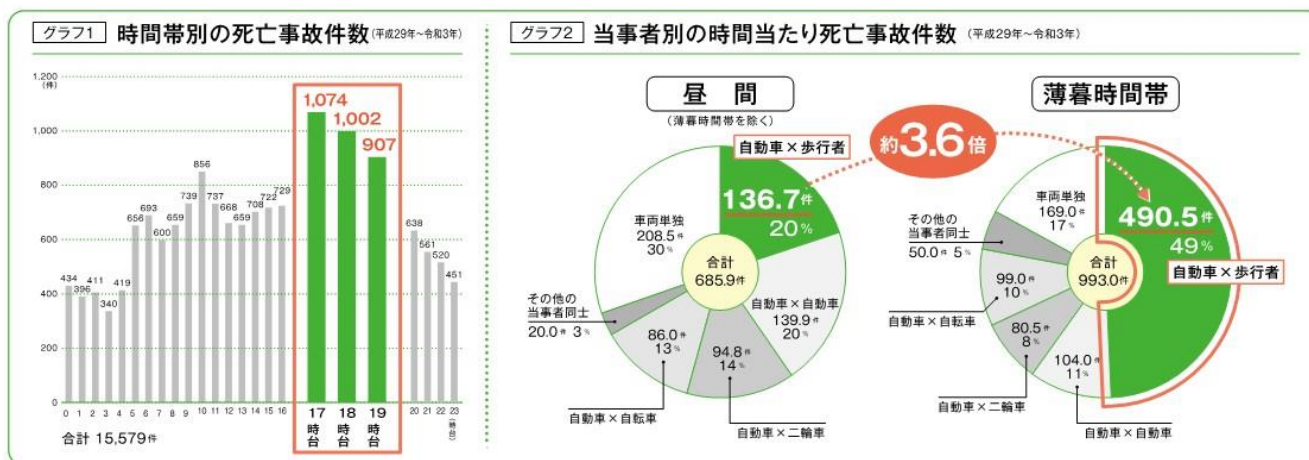
薄暮時間帯・夜間の自動車対歩行者の交通事故を防ぐには、ドライバーが歩行者に対して細心の注意を払うことに加え、歩行者が自身の存在をドライバーに発見してもらうことが重要です。本ソフトウェアを用いることで、自身の姿がドライバーからどのように見えるのかが簡単わかるため、少しでも明るい服装を心がけたり、反射材を着用したりするきっかけとなります。

JA共済連とトヨタ・モビリティ基金は交通事故ゼロを目指すという共通の想いのもと、互いの知見やネットワークを活かし、本ソフトウェアを活用したイベントの開催等、交通安全啓発活動を積極的に実施してまいります。



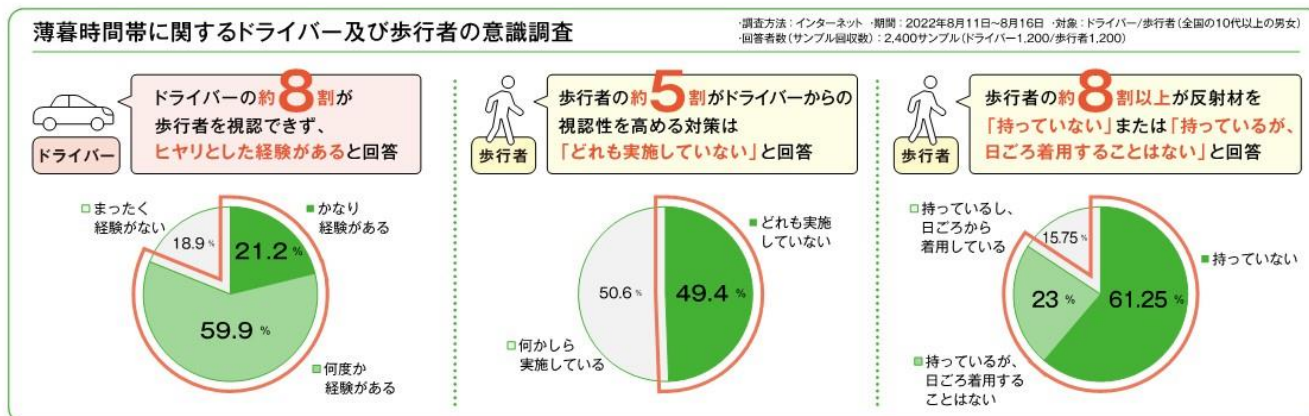
## ■交通死亡事故が発生しやすい薄暮時間帯・夜間に着目

交通死亡事故は、一日の中で17時台～19時台において最も多く発生（グラフ1）しており、薄暮時間帯の「自動車対歩行者」事故の時間当たりの死亡事故件数は、昼間と比べて約3.6倍発生（グラフ2）しています。



警察庁 WEBサイト「薄暮時間帯における死亡事故に係る分析」をもとに作成

また、薄暮時間帯に関するドライバーおよび歩行者の意識調査によると、ドライバーから歩行者を視認できることが事故防止に大変重要にもかかわらず、実際に対策をしている歩行者の割合は少ないという実態があります。



## ■本ソフトウェア「見えチェック」について

ドライバーから自身の姿がどのように見えるのかシミュレーションし、服装の見えやすさを診断できるソフトウェアです。

### 1. 体験フロー



### 2. 主な特徴

(1) 複数のシーンにおけるシミュレーションが可能

- ① 昼間、薄暮、夜間、3つの時間帯における自身の見え方
- ② 2つの距離における自身の見え方
  - ア. 「明るい服装なら見える」とされる約 38m 先
  - イ. 「反射材着用なら見える」とされる約 57m 先 (反射材有にて撮影時)

(2) 服装の見えやすさをA～Cの3段階で診断し、対策アドバイスが記載された「診断表」を提供

▼診断表は38m先、薄暮の計測値にて算出。

今日の服装の「見えやすさレベル」は **A**

(A・B・Cの3段階)


》上半身の評価 … **A**  
 》下半身の評価 … **B**

ドライバーからは比較的に見えやすい服装です。  
反射材をつけると、さらに見えやすくなるでしょう。

(※)服や体に当たった光がどの程度反射するかを表す「反射率」と、光が当たっている箇所の明るさを表す「輝度」の数値(薄暮時、自動車からの距離38m)を算出し、判定しています。  
(※)診断結果は目安であり、実際の見えやすさとは異なる場合があります。

▼服装に関するアドバイス


暗い色のシャツやカットソーとも相性がよく、色味のバランスが取りやすいのでおすすめ。ショート丈や細身のものは、下はゆったりと。長めの丈や身幅があるものは、細めのパンツなどを選べば、全体のシルエットがきれいに見えます。



▼反射材着用に関するアドバイス

**更にGood!**

薄暮時や夜間は、自動車等のヘッドライトに反射する反射材を活用しましょう。



**!** 道路を横断する時は特にキケン!

必ず右左の安全を確認して横断歩道を渡りましょう。無理は禁物です。

**Point** 反射材は、**靴や足首付近**に複数つけると効果的です。  
(ヘッドライトが下向きでも光があたりやすくなります。)



## ■ソフトウェア「見えチェック」を活用した交通安全啓発活動について

J A 共済連とトヨタ・モビリティ基金は、以下のイベントへの出展や J A 共済連が実施するドライビングシミュレーター搭載車両「きずな号」(※)による全国展開(令和4年10月より試験実施、令和5年4月より本格実施)をはじめ、本ソフトウェアを活用した交通安全啓発活動を開始します。

日程	イベント名
10月9日(日)	トヨタ博物館主催 「クラシックカー・フェスティバル」 (愛知県長久手市「愛・地球博記念公園」にて開催予定)
10月22日(土)	一般財団法人全日本交通安全協会主催 「反射材フェア 2022」 (東京都「池袋サンシャインシティ」にて開催予定)

### (※) ドライビングシミュレーター搭載車両「きずな号」

高齢者の交通事故を防ぐために、ドライビングシミュレーター搭載車両「きずな号」を全国に4台配置し、巡回型の安全運転診断を行っています。

過去の事例を参考に、事故を起こしやすい場面を再現したドライビングシミュレーターを使い、安全運転のアドバイスが受けられる内容となっています。



また、J A 共済の地域貢献活動を紹介するHP「ちいきのきずな」では、特設WEBサイト「服装“見えやすさ”診断 見えチェック」を9月14日(水)13:00より公開しています。

URL : <https://social.ja-kyosai.or.jp/miecheck/>

<今回の取組みに関連する主なSDGsの目標>

